



この頃よく、昔の方が良かったと聞くことがあります。

私が子供のころは盆踊りや、近所のお宮さんの祭りにみんなが出かけて、村全体が一つの家族のような繋がりがありました。

遅くまで遊んでいると、村の長老のような怖いおじさんがいて、よく怒られたものです。悪さをすると家まで言いつけに来られたりして、子供のころは嫌でしたが、村全体で子供を見るとどうか、育てるといふような雰囲気がありました。

ところが今はどうでしょう。すっかり変わってしまったって、子供が遊んでいるところを見るのがほとんどありません。塾通いで忙しくて大人より子供の方が大変です。

われわれ人間は人と接することで、嫌なことでも有りますが、安心を得ているのです。親鸞聖人のお念仏の教えは安心を得ることです。私が子供のころ学校の帰りが遅くなって、真っ暗になってしまった坂道を一人で心細く歩いていた時、坂の上で懐中電灯をもって迎えに来てくれた母を見てほっとするとか、ほんとに安心することができました。

真っ暗闇のわれわれの人生を、仏の光でこちらにおいでと照らしていただくのが、お念仏の教えではないでしょうか。